

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																					
ET451008		理科指導法演習(Seminar in Methodology of Science Teaching)					教科実践																					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																						
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 三次 徳二 E-mail tokuji@oita-u.ac.jp 内線 7723																						
授業の概要	理科指導法特論などにおける学習成果を基礎として、今日学校において生じている課題のうち、特に理科の指導に関する事項について、実際の事例を受講生自身が調べ、その改善方法について受講生とともに考えて行くことをねらいとする。																											
具体的な到達目標										DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
目標1 公立学校や附属学校園における調査に基づき、今日学校において生じている理科の指導に関する課題を理解することができる。																												
目標2 理科の指導に関する加地アの改善方法について、具体的な提案をすることができる。																												
目標3																												
目標4																												
目標5																												
目標6																												
目標7																												
目標8																												
目標9																												
目標10																												
授業の内容																												
1 今日学校で生じている理科の課題について(前期の授業の振り返り)																												
2 学校における調査方法,計画の立て方																												
3 調査の視点について(受講生による調査計画の発表)																												
4 具体的な調査方法,計画について(受講生による調査計画の発表)																												
5 学校における調査の中間報告(受講生による報告と議論)																												
6 学校における調査の中間報告(受講生による報告と議論)																												
7 ニュース等で報道された理科に関する課題に関する議論																												
8 ニュース等で報道された理科に関する課題に関する議論																												
9 学校における調査の進展状況の報告(受講生による報告と議論)																												
10 ニュース等で報道された理科に関する課題に関する議論																												
11 ニュース等で報道された理科に関する課題に関する議論																												
12 調査に基づいた課題の把握と改善方法に関する提案(発表,議論)																												
13 長さに基づいた課題の把握と改善方法に関する提案(発表,議論)																												
14 学校種別の課題について																												
15 授業のまとめ																												
ラーニング	A:知識の定着・確認	発表,話し合い,現地調査										工夫	その他															
	B:意見の表現・交換																											
	C:応用志向																											
	D:知識の活用・創造																											
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修																											
	事後 学修																											
教科書	特に使用しない。																											
参考書	文部科学省や国立教育政策研究所などのwebサイト(授業中に指示する)																											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																
	発表	40%																										
	レポート	60%																										
注意事項																												
備考																												
リンク																												
	URL																											